



# 港工同窓会 ニュース

第12号

平成25年4月20日発行

発行責任者 前田武男

再建二十五周年を迎え  
同窓会存続の是非を問う！

港工同窓会会長  
港3期(全)電力科卒

前田 武男



平成元年、三十年近く活動を休止していた港工同窓会の再建総会が、高橋・加藤両先生等の肝いりで東京大手町のサンケイホールで二百余名の参加者により開催された。その折不肖私が二代目会長を拝命してからはや二十五年が経過した。

振り返って見ると、さまざまな事柄が思い浮かぶ。

手許にある港工同窓会ニュースを読み直してみると、創刊号は平成十四年四月二十日発行、現在までに臨時号を含め十八回まで刊行された。私も十一回寄稿している。

その創刊号を見ると平成十三年度の出席者数は百二十一名とある。その外主なものあげると、母校創立五十周年行事のこと・平成十四年の定時制の閉課程、平成十五年三月八日の「愛宕を惜しむ会」(マルパルクにて開催)・太田地区単位制工業高校(現六郷工科高校)、都開設準備室より港工同窓会に協力要請・平成十五年六月七日、母校での最後の定

期総会(出席者八百名・平成十六年三月三十一日閉校・同日の「フオーエバー愛宕」に旧教職員を含め二百五十名余り参加・平成十六年四月、六郷工科高校「開校記念式典」に参加・平成十六年六月十二日初めて六郷工科高校での定期総会開催(九十一名出席)・平成十六年十月三十、三十一日の両日に六郷工科高校文化祭で港工同窓会をアピールすべくPRブースを設置・平成十七年「ホームページ」開設、等々。再建後の港工同窓会の歴史が丹念に綴られている。再建当初は、同窓の先生方が数多く在校されていたこともあり、協力していただき役員と共に一丸となって会員名簿の作成・整備・定期総会の復活、会員相互の親睦等なみなみならぬ努力を重ねてきた。

その後、同窓会の業務も増え役員も刷新された。私は常々役員の方には協力出来る範囲で参加していただきたいと申し上げてきた。

しかるに役員諸君はボランティアにもかかわらず、加藤先生指導のもと貴重な時間と労力を費やし、港工同窓会ニュース(毎回約五千部)の編集・作成・発行・郵送、また総会の出席者の名簿・名札の作成等の準備、懇親会場の設営、あるいは返信ハガキの整理、住所変更等の会員名簿の修正作業、毎月の役員会、その外種々の打ち合わせ、また私費によ

る新年会、忘年会、旅行会など、努力と協力、なみなみならぬ苦勞の末なんとか活動を続けてきた。私も会長としてすべての会合に必ず参加した。我ながら二十五年間良く続けてこられたものと自分自身を褒めてやりたい心境だ。

再建当時の仲間達も次々と去りもう私の周りには誰もいない。

唯一、私の片腕として全面的に支えてくれた心の友、同期の加藤先生も病に倒れ、私自身も八十才の舞台を越え限界を感じている。

昭和二十三年に開校した港工業高校は約二万人の同窓生を輩出したがら同窓会賛助金の協力者は約五百名前後、僅か2.5%である。

総会の出席者も年々減少している。ちなみに平成二十四年度の総会出席者は三十六名だ。同窓会々員の一部からは「クラス会があれば同窓会なんかいらぬ」との声や、役員の中にも「二十五周年を区切りに同窓会を解散したら」と云う意見もある。

本年一月の役員会はたった五名！このような同窓会を存続していく意義があるのだろうか？

同窓会々員の諸君に問う

同窓会は存続すべきか、否や！

平成二十五年三月

―ご意見をお聞かせ下さい

「50周年記念誌より」

同窓会の発展を願う

会計理事 旧職員  
港(全)3期電力科卒 加藤 琢 二

港工同窓会が発足した経緯は、20周年の記念誌に山下陽康氏(麻布工1期卒)が書かれているので、改めてここには引用しない。現在、前身工・全定港工の卒業生が一堂に会して総会を開けることは、先人の与えてくれた、偉大な遺産だと感謝したい。「港工同窓会」の呼称も、同時に決定されたもので、前身校の方のご英断によるものと感謝申し上げます。

初代会長の久保田鉦雄氏(高輪工1期卒)を中心に幹事の方々の熱意ある運営と、年々300名を越す新会員を迎える事により、会は急成長した。当時、総会は1階に建てられた講堂兼体操場(今は無い)で恩師の多数のご臨席を得て開かれ、参加者も200名から300名に及ぶ盛大なものであった。ほやほやの新会員であった筆者も末席を汚した。

昭和31年からは、毎年6月第1日曜日と定めて定期総会が開かれるに至ったが、この間の幹事の皆さんのご努力は並大抵のことではなかった。中でも、定期総会の準備では若手幹事のお一人、高橋光春先生(高輪工

7期卒)が大部分を受け持たれてご苦勞されていたことを記憶している。筆者も、高橋先生のお供で懇談会用の飲み物を発注しに酒屋に行ったり、福引の景品を仕入れたりしたことを懐かしく思い出す。

やがて、工業高校の増設による校内幹事の幾人もの移動と、校外幹事の転勤で幹事会の運営に支障が生じ、母校の校舎は増改築工事があり総会の場を失った。その苦勞は、久保田初代会長が、20周年記念誌にお書きになっているので、ここには改めて引用しない。昭和39年までは定期総会が開かれた記録があるが、以後残念にも絶えて無い。

20周年記念行事には、高橋先生の裁量で、会として参加・協力できたが、懸案の諸問題は役員会も総会も開けぬままに解決できなかった。特に人事問題は、前身校の関係から難しく思えた。物価変動に対応できない終身会費も、会の運営をますます危機に陥れた。

歴代の校長先生が着任されると必ず、高橋先生以下在勤卒業生は「同

窓会を整備するように」とのご指導を頂いた。自分たちのことを処理できずに先生方にたびたびご心配をかけてしまうことになった。しかし、会費徴収・現役生徒への援助・名簿作成配布は実行され、今実施中の会務のうち役員会と総会以外の大部分が高橋先生お一人によつて30年近くも続けられた。この間には、母校の先生方の寄付による経済援助をも仰ぎ問題解決に大きく踏み出し得る基礎作りもされた高橋先生のご功績には幾重にも感謝しなければならぬ。

高橋先生が定年退職を迎えられ、その後任に指名された筆者は、とてもこの重任に耐えられないことを直感した。洞下義弘先生(港工3期卒)並びに栗田吉夫先生(港工3期卒)に相談し、ご協力を求めた。平成元年9月、三者協議にて以下の結論を得た。

- (1) 初代会長が20周年記念誌に寄せられたご意見「もう港工業の卒業生に任せて」を尊重する。
- (2) すでに港工業としての卒業生も40期を超えた現在、前身校の幹事に「挨拶する手続きが踏めなくとも、暫定役員会を設置し、臨時総会を開催しても許される。

同10月、幾本嘉男先生(高輪工1期卒)並びに高橋先生にこの結論を

ご報告し了解を頂く。先ず、5人会則・役員候補・日程の検討に着手する。一方、初代久保田会長の文書によるご賛同も得る。

同11月、全定在勤卒業生10名が幾本先生を囲み対策を協議し、各自母校での教え子のうちより推薦し、人選したものを加え準備会が構成された。

同12月、再建準備会を開催し、会則と役員候補及び臨時総会の日程等を決定する。

その後、総会までに大小数回の準備会を持つ。

平成2年3月25日「港工同窓会再建臨時総会」が、サンケイ会館にて200名を越す参加者を得て開催され、30年近くも休息していた総会を復活することができた。幾本先輩、高橋先輩をはじめ、再建に携わられた校友の方々に紙面を借りて感謝いたします。特に前田武男氏(港工3期卒)には、新会長就任を快諾され、心から感謝します。

今後は、心ならずも低迷した過去を教訓として、同窓会の発展を願って会員全員が一段と努力して行くことではありませんか。





《スピードボール部》

六郷工科高等学校

デュアルシステム科教諭

港全 28期 A卒 杉野 栄一

港工同窓会の皆様、スピードボールという競技をご存知ですか？スピードボール部の顧問をしているので紹介させていただきます。

競技人口は少なく千葉県に4チーム、埼玉県に1チーム、新潟県に1チーム、富山県に1チーム、大田区に3チームあるだけです。大田区には日本一強い大田市場チームと本校の卒業生で作っているチームと六郷工科高校にあります。部活動としての活動している高校生チームは日本で本校だけで、その他はスポーツクラブの会員や地域の方々で構成しているチームです。本校のスピードボール部の活動日は火曜日・水曜日の放課後と日曜日の午前中に行っています。部員の生徒は学校だけでは強くなれないので日本一強い大田市場チームの練習に加えさせていただいて、技術の向上を目指しています。また、日曜日にはOBが来るので、OBの方々から指導を受けています。スピードボールについて紹介します。スピードボールはテニスのウォーミングアップなど屋内練習の一環として、エジプトで考案されたラケット競技です。高さ1・7メートル

の金属製のボールの先端に、長さ1・5メートルのナイロンコードで取り付けられたゴム製のボール、プラスチック製のラケットで打ち合う競技です。競技種目はスーパースロ、シングルス、ダブルス、ソロリレーの4種目あり、スーパースロは1分間に何回打てるかを競うゲームで、右手、左手、両手フォア、両手バックと各1分間うち4種目の総合打数で順位を決定します。シングルスとダブルスは、10点先取をもって勝ちとして、マッチゲームは3ゲームで2ゲーム先取すると勝者となります。ソロリレーとは、4人1組でチームを組み各自がソロの各種目を30

秒間担当して、合計2分間での総合打数を競います。男女2mずつでチームを組んで行うソロリレーをミックスリレーといい、国際大会で国別対抗戦として行われる種目で、チームワークと全員の競技レベルが勝敗を左右します。チーム成績としては、世界大会に2度進出しジュニアの部2位と3位を取っています。今年度の成績は、女子スーパースロ・ジュニアの部三位、女子シングルス・ジュニアの部三位、男子シングルス・ジュニアの部三位を取りました。世界大会に向け日々活動しています。

◇平成25年度・再興25周年記念定期総会

記

- 日時 平成25年6月15日(土)13時より(受付12時30分)
- 場所 総会 芝パークホテルにて 13時より (JR「浜松町」徒歩8分)
- 懇親会 芝パークホテルにて 15時より (都営地下鉄「御成門」5分)
- 会費 10,000円(総会のみの方は無料です)
- 内容 平成24年度事業・決算報告、新役員承認  
平成25年度事業計画・予算案の承認その他

◎懇親会イベント 世界的マジシャン「前田知洋氏」によるテーブルマジックの披露

今回はご家族に限り同伴者OKとします。(同伴者無料)  
※懇親会参加の方は同封の郵便払込用紙の賛助金2,000円印字済金額を懇親会費共12,000円に訂正の上郵便局にて事前払込をお願いします。  
(ATM機に払込用紙を挿入すれば土日、夜間もok)  
※準備の都合上、6月10日までに同封はがきで出欠の返信をお願いします。





## 旧(機械)全 植松 基

毎回ご招待頂きまして嬉しく存じます。40年余りの教職で30年の港工生活が最高でした。友愛と信頼に包まれた絆の中の生活、一生忘れられません。一生感謝の日々です。87才を迎えまして体が思うようにならず、残念至極です。

## 旧(体育)全 小笠原 将幸

毎度ご案内下さりありがとうございます。相変わらず98歳の母の介護で過ごしております。(私は75歳なので老々介護)。想い出は富津臨界寮の運営と指導。東京五輪の体操競技役員として派遣されたこと。体育祭で全校生徒と教職員に参加してもらった民謡。文化祭で戸板女子高生を招き、フオークダンスを指導したこと。その他種々あるので書ききれませんが、認知症の母がいますので不如意で、残念です。

## 旧(電気)全定 深澤 春三

定期総会のご案内を頂き有り難うございます。総会に出席できませんが申し訳なく思っております。

## 旧(機械)全 山本 昭貴

主人は現在病氣入院中ですので欠席させていただきます。

妻 山本サダ

## 旧(社会)定 藤崎 ミヤ子

ご案内をいつも頂戴すること感謝しております。幹事の皆様にはご苦労様です。港工を離れてからもうすぐ30年にもなるのだと思うと月日の速さを思い知らされます。当時のことは鮮やかに思い出されます。文化祭での芝居、その日はたいいてい女子国際東京マラソンで往路の選手が田村町交差点に見え出すと、皆をちらへ移動して学校が空に。今はもそのマラソンもなくなつたし、校舎も移つて・・・やはり長い年月だったのですね。

## 旧(英語)定 福井 祥

ご連絡ありがとうございます。欠席とさせていただきます。当時の定時制の生徒や同僚とたまに会つて旧交を温めています。

## 旧(体育)全 小川 幸吉

4月から非常勤教員としてラスト1年を頑張ります。想い出は何といつても屋上野球と校庭でのキャッチボールです。

## 旧(自助)定 金野 千賀子

おハガキありがとうございます。約2年前から寝たきりとなりました。元氣なら必ず出席したと思います。残念ですが・・・

## 旧(電気)全定 砂川 海廣

港工は人として多くの事を学んだ思いで深い学校です。クラブ活動でテニス部顧問として生徒達と汗をかけたことも今となっては遠い昔です。数年前の手術で17kgも減少して49kgの現在ですが何とか前向きに生きて居ります。

## 旧(電子)全 菅原 彪

ご盛会をお祈りいたします。

## 旧(英語)全 甲斐 徳隆

大学に向かうため欠席させていただきます。昨年9月16日に公務員ランナーの川内選手とシドニーのフルマラソンを走りました。私は35キロ付近で右脚がツツテしまい4時間26分チョイでゴールしました。ボケ防止に始めたオカリナはかなり上手に吹けるようになりました。

## 旧(自動車)全 猪口 明

いつも連絡(お知らせ)ありがとうございます。

## 旧(自動車)全 古川 正信

講師になつて5年になります。昨年度は24時間とハードでした。新年度は練馬工業・多摩工業・中野工業で計16時間の講師となる予定です。母が弱つてしまい少しでもフオローしてやりたいと思っております。

## 旧(国語)全 吉川 英雄

ご案内ありがとうございます。本年4月、竹台(たけのだい)高校に異動しました。港工で教員としてのスタートをしてから、10校目、33年が経ちました。(あと4年でリタイアです)。仕事のイロハをご指導いただいた両角・加藤両先生や、初めて持った担任学年の前田知洋氏のマジック等参加を楽しみにしておりましたが、保護者会の日程と重なつてしまい残念です。ご盛会を祈念しております。

## 旧(自動車)全 杉野 栄一

当日仕事があるため欠席いたします。

## 旧(国語)全 花田 恵子

ご案内ありがとうございます。

## 旧(保健)全 関口 敦子

いつもお知らせありがとうございます。今年のはじめは桜のせいかわ分永く楽しめますね。愛宕の桜もみごとでした。

## 旧(国語)定 持田 ひろ子

ご連絡ありがとうございます。花咲き花散り、あれから幾度の春秋を迎えたことでしょう。私もあと1年を残すのみとなりました。出席は出来ませんが、皆様のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

旧(国語)全 矢部 玲子

昨年、もと同僚や教え子と久々の再会を果たしました。特に教え子の方は、現在私が住んでいる札幌で、30年ぶりに、共に労をとって下さったもと電機科の諸富氏には心より感謝いたします。北海道文教大学に勤務して1年。栄養士、理学・作業療法士、看護師、保育士、教師を目指す皆さん、受験をお待ちしています。

——編集部より 札幌在住

旧(国語)全 林 輝彦

残念ながら欠席いたします。会のご発展と会員みなみな様のご健勝をお願いのり申し上げます。

旧(英語)全 上田 みつ子

(勤務先が4月より変わりました。)都立三田高校から都立富士高校へ異動しました。東京タワーから離れてしまい残念でしたが、最後の勤務校になると思われますので、努力する所存でおります。

旧(社会)全 藤井 恵子

いつも御連絡ありがとうございます。私も定年まであと8年となり、自分の基礎を作らせていただいた港工を懐かしく思い出すことが度々です。特にこの季節は愛宕山での花見の楽しかったことが浮かびます。本当に港工での日々は「良き時代」でした。

旧(嘱託技能) 中村 久子

役員の皆様  
ありがとうございました。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵

4月から、ここ3年と同じ大森高と目黒高にお世話になります。3月にいたたく講師の依頼のお電話の際、近くない工業高校からの問い合わせをいただくと、港工業の頃のみなさんを思い出します。みなさんの活躍とご多幸をお祈りしております。

旧(事務) 国分 賢司

先約あり。欠席します。

旧(数学)定 清水 隆夫

幹事ご苦勞様です。毎回ご連絡いただきながら出席できず申し訳ありません。

旧(英語)全 十亀 有紀

昨年夏、「2年次研修」の講師として教職員研修センターに出向いた時、成長し、立派な教員となった自動車科の卒業生と感動の再会をいたしました。

旧(電子)全 武藤 隆

毎年、同窓会の通知ありがとうございます。これからも、よろしくお願ひいたします。

旧(事務長) 田辺 秀典

退職後校長会で働いています。中型免許が20才までに取れないことが、今全国の工業高校で話題になっています。運輸関係の就職に支障があるようです。

旧(嘱託英語)全 矢本 純子

お世話様になっております。都合により欠席させて頂きます。

旧(事務)全 宮川 君江

元気で無事生活しています。

旧(自動車)全 大塚 健一

現在、都立大島海洋国際高等学校に勤務しております。

——編集部より 大島在住

旧(電気)全 江口 勝義

ご苦勞様です。



港全12期C卒・西澤敬司氏より  
港工周辺を撮影した写真の提供  
がありましたので、その中から  
一部を掲載します。

(2013年/1月 撮影)

——編集部より

現在、校舎は無人で、  
使われておりません。

校舎裏(自動車工場)



校舎正面 (左側)



愛宕山(男坂)



### 【 前 田 知 洋 氏 プロフィール 】

前田知洋(まえだともひろ)東京電機大学卒。卒業論文は人工知能(エキスパートシステム)。クローズアップ・マジシャン。プライムタイムの特別番組をはじめ、100以上のテレビ番組やTVCMに出演。新聞、雑誌などの取材記事は多数。LVMHグループ企業からブランド・アンバサダーに任命されたほか、歴代の総理大臣をはじめ、各国大使、財界人にマジックを披露。海外での出演も多く、英国チャールズ皇太子もメンバーである The Magic Circle London のゴールドスターメンバー。連載や執筆も多く、著書に『知的な距離感』(かんき出版)『人を動かす秘密のことば』(日本実業出版)『新入社員に送る一冊』共著(日本経団連出版)ほか

#### 1988. ～

1988年 米国アカデミーオブ・マジカル・アーツのオーディションに合格。世界的に有名なロサンゼルスマジックキャッスルに日本人最年少で出演。1990年 優れたマジシャンへ贈られる厚川昌男賞を受賞。1994年にマジック界のオリンピックといわれる世界大会、FISMの横浜大会ゲスト。1997年には、同ドレスデン大会へ出演。

#### 2002. ～

2002年 「その年に最も活躍したマジシャン」に贈られるマジシャン・オブ・ザ・イヤーおよび、大賞のジャパン・カップ 2001を受賞。2003年には、世界中のマジシャンに愛読されているアメリカのマジック専門誌「GENII MAGAZINE(ジニー・マガジン、1936年創刊)」の表紙に選ばれ、特集が組まれた。ロサンゼルスマジックキャッスルに2003年11月3日～9日までゲスト出演。ニュースレターに「"some of the most unique and original close-up magic to be seen anywhere in the world" (世界の中でも、最も個性的な、オリジナルのクローズアップ・マジックの数々)」と紹介される。ラスベガスのRIVIERA HOTEL & CASINOでおこなわれた Society of American Magicians 2003 にゲストで出演。

#### 2004. ～

2004年より「スーパーテレビ 奇跡の指先 前田知洋」など、9本の特別番組の出演を始めたほか、「徹子の部屋」「おしゃれカンケイ」「課外授業」やプライムタイム(夜の看板番組が並ぶ19:00～23:00の時間帯)での多くの番組にゲストとして出演、近距離で見せるマジックのブームを日本に巻き起こす。ソニー・コンピュータエンタテインメントのPSPのTVCMに主演。

#### 2005. ～

2005年 ベスト・クローズアップ・マジシャンを受賞。英国王室チャールズ皇太子もメンバーのマジック・サークル・ロンドンの100周年記念イベントのゲストで招かれる。同会の最高位のゴールド・スター・メンバーを授与される。フジテレビ系列「笑っていいとも！」のテレフォン・ショッキング、ゲスト。日経エンタテインメント(日経BP社)の特集「世界が認めた 日本のヒットメーカー ベスト100」にランクイン。2006年 カシオ計算機とのコラボレーションしたデジタルウォッチ「MGC-10」発売。大塚製薬のオロナミンCのTVCMに出演。

#### 2008. ～

2008年 80年の歴史があり、世界中のマジシャンに愛読される米国のマジックの専門誌「GENII MAGAZINE」に2004年に続いて表紙を飾り、カバーストーリーとして特集記事が組まれた。インタビューなどを含むテキストは47,000字以上、記事は17ページにおよんでいる。

#### ～2012

NTV系「ザ!世界仰天ニュース」で視聴率17%を記録し、ツイッターのトレンドワードになったほか、NHK報道番組「海外ネットワーク」でニュースコメンテーター、ミステリー作家とのトークショー、大学での講演、FMラジオ番組のレギュラーを務めるなど、幅広い活躍をしています。



前田知洋氏は港工高第36期(S59年)電子科卒業生

港工同窓会再建25周年記念イベントに同氏のマジックが披露されます。

本年の懇親会は記念行事として、ご家族(含む子供)様に限り、無料ご招待致します。





○ 六郷祭と港工同窓会 ○

一点の曇りも無い青空、すばらしい秋晴れ、これぞ日本の空。同窓会展示室の室内に在るのもつたいなぐらいだ。

平成24年11月10日〜11日、六郷工科高校の文化祭である「六郷祭」はこの年で第9回となった。

我が港工同窓会も校舎の一部を借りして毎年展示している。展示室は校舎入って直ぐの、とても分かり易い場所だ。この室は本来小会議室で、毎月の港工同窓会理事会も当初はここで開いていた。

今年の展示品は山元理事私物の測定器や昨年展示の真空管ラジオ、例年出している同窓会名簿、写真、パネル等で、例年通りとなった。

六郷祭初参加の頃は多勢の理事さんが前日から張り切って、多数の展示物を準備したものだ。今はその雰囲気は無い。



六郷工の在校生の来場が無いのも気にかかる。当同窓会展示室は、本会場から別会場へ行く途中の通路にあるから一寸でも覗いて見てくれるも、と思うのだが、ほとんど目が目の前を素通りだ。



六郷工高生から見れば「港工同窓会」とは何?・・・と云うことか。だが六郷高生には港工他、数高の工高の廃校があつてこそ六郷工科高があるのだと云う事を知って貰いたい。

六郷高にも今年から同窓会が出来るらしい。先輩同窓会として何か協力出来ることは無いか、探っていきたい。同窓会展示室を共用すれば、ついでに我が港工同窓会を知ってもらえる訳だ。

校内展示に今回目新しい物はなかったが、技術は日進月歩しているのだからそれに見合った展示を期待したい。費用の面で難しいだろうが、例えば「電気自動車」「3Dプリンター」など。持っている企業を廻って借りてくるぐらいの気構えを持ってもらいたい。これからの技術者は

「ハードのモノ作り」 だけでは駄目で「ソフト」(交渉術など)も必要になる。そうすれば六郷祭がもつと盛り上がる。



六郷祭二日目終了際に沢山の山車が校外に繰り出した。

◇平成25年度定期総会

恩師出席予定

- 関 透 (第12代校長)
- 三谷 和夫 (教頭 定)
- 明石 朗 (自動車 全)
- 山田 信幸 (電気 全)
- 加藤 琢二 (電気 全)
- 渡辺 昌介 (理科 定)
- 広橋 恭二郎 (電気 定)
- 西原 要四郎 (教務 定)
- 両角 亮一 (数学 全)
- 杉野 栄一 (自動車 全)

平成25年4月10日現在 (敬称略)

恩 師 訃 報

- 片山 茂 (電子) 全
- ※再掲
- 藤田 泰彦 (体育) 全
- 武田 たね (旧職員)

ご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)



## 郵便友の会

港全12期E2 中西悦夫

「郵便友の会をご存知だろうか。ペンフレンドクラブ（略称PFC）ともいう。昭和24年ころ名古屋通信局（現在の郵便会社東海支社）で発足した団体だ。文字通り、「郵便を通して国内、国外の友と話し合える」のを目的としている。平成の今も続いているようだ。

「港工高郵便友の会」。

私が、国語の棚橋先生を顧問に（自分から言い出したか、先生から言われたのか思い出せないが）この会を作ったのは昭和33、34年頃。（それ以前には無かった筈）港工2年生頃か。「郵便友の会」を発足させると同時に、クラブ新聞の「港郵」を発刊した。原稿集めから、ガリ切り（油紙の原紙に鉄筆で文字を書くこと）からガリ版刷り、配布まで一人でやった。

手紙を書いたり、文章を作ったりするのは中学の頃から好きだった。隣の町に新設の中学が出来て同級生の一部が移ったとき、ハガキ通信を散々したものだ。また、中学の同人誌にもよく投稿した。

でも、本格的に手紙を書き始めたのはこの頃だろう。「手紙書き」などと云うことは「女の子」の遊びと

思われていた時代だが、それでも十数名の入会があったように記憶している。「郵便友の会連合」と云うのがあり、そこを通して他校と名簿をやりととりして文通相手を探すわけだ。地方中心に数名のペンパル（郵便友達）が出来た。何と！ そのうちの三人とは今だに文通をしているのだ。さすが最近では正月の年賀状ぐらいで終わってしまっているが、お互い元気だ。北海道に二人、新潟に一人いる。もう50年になろうとしている訳だ。二人とは会ったことがある。会ったことがないもう一人は北海道在住で小学校教諭定年退職後、世界中遊び回って、私にも是非北海道に遊びに来いと誘われている。ヨボヨボになる前にその地に（北海道と新潟）もう一度会いに行きたいのだが、なかなか叶わない。

なんと、昨年港同窓会旅行をきっかけに理事に参加された18期A相川理事がこのPFCの会員であった。在校時が合わないもので、もちろん知らなかった。同好の士が身近なところにはいた。クラス会で昔話にしたるも良いが、クラブ活動で楽しかったり苦労したりの思いを語り合えるには、級を離れた同窓会でしか無い。

「郵便友の会」に限らず、他のクラブ活動の思いを呼び戻したい方、この港工同窓会組織を有効に利用してほしい。

今は「メール」の時代。便せんに文字を書いて封筒に入れ、切手を貼ってポストに・・・と云うのも、もはや絶滅危惧種になってしまった。通信手段が多様化した今の時代だからこそ「手書きの手紙」を残しておきたいものだ。

ちなみに、前田会長はアナログ人間でメールも出来ない。（会長さん、失礼致しました。）

最近、「郵便友の会」について加藤先生（会計理事）にお聞きしたことがあった。すると、面白い事が分かった。それは、修学旅行に行った時に宿泊旅館の前に大勢の女学生が集まって来ていた、とのこと。これは港工生のペンパル相手の女の子が会いに来ていたのだ。これは知らなかった。男女交際の場が少なかった当時、男子校、女子校は、お互い異性を求めて色々考えたのだろう。私が「友の会」を創った目的は、地方の文化を知りたいと思ったこと、文通そのものが好きだったから。だがその後の進展は意外な方向に動かっていたみたいだ。いづれにしても、後輩諸君が後を引き継いでくれたことは、「先輩」として嬉しいことだ。

この「郵便友の会」の組織はいつ頃まで続いていたのか、情報があつたら教えて下さい。

## ◇会計理事を担当して15年

港全16期A 松岡信之

前任の藤井先生から会務を引継いだのが平成10年度の総会終了後で、11年度にパソコン購入しそれまで母校内に保管していた会員名簿データーを移設し、新卒業生名簿の作成総会案内はがきの作成を始めた。

その後、母校の閉校方針が決まり、同窓会の存亡をかけて賛助会費の徴収、会報同窓会ニュースの発行、ホテルでの総会懇親会開催、母校文化祭参加等活動を拡大してきた。

当時、卒業式当日に、校門外で待ち構える業者が卒業生から名簿を買い取る事件が発生したため、その後は卒業生には住所空欄の名簿を配布するようにした。

名簿データーの個人情報保護のため、データーは外部記憶媒体で保管し、会員への発送作業は業者委託をしないで、私のがき・振込用紙約5000枚へ直接プリントし、封入作業のみアルバイトを使っています。

住所変更・宛て先不明戻り・計報等データー管理と会報作成、総会開催、六郷祭参加等に追われているうちに気がつけば15年になります。

作業は大丈夫です。皆様の継続意欲と賛助金の納入がある限りは続ける所存です。

青春の想い出は大事にしたい！

「20周年記念誌より」

## 港工高の誕生（その1）

本校初代校長 早坂朝太郎

昭和二十年八月の終戦時には、東京都立の工業学校は約三十校あった。終戦後整理して、商業学校から工業学校に転換させたものを元の商業学校に復活したり、整理統合したりして都立工業学校の数を十九校にした。高輪・麻布・渋谷の三都立工業学校は高輪工業学校に統合されて一つの東京都立高輪工業学校となり、過去において三工業学校の何れにも関係のなかった私が、昭和二十一年三月三十日に都立理工専門学校教授から東京都立高輪工業学校長に任命されたのである。

麻布・渋谷の二校は戦災を受けて校舎も設備も何一つなく、あるものはただ職員と生徒のみであった。高輪工業学校は戦災は受けていなかったが、前に尋常小学校であったものを転用した四百名くらいの生徒しか収容できない狭小貧弱な木造校舎で、元は雨天体操場であつたらしい機械実習工場や普通教室を改造した電気実習工場があつたが、大切な工具や部品などは一つもなくなつていたし、理科の実験用具や図書やその他のも

のほとんど散逸してしまつて、實際何もないような有様であつた。

三校から集まつてきた生徒は昼間部の方は千二百余名、夜間部の生徒も僅かではあつたが残存していた。三校から集まつた教職員・事務職員・用務員まで、生徒の割合に多過ぎて相当数の方々を失業させることなく、他に就職をお世話するためには、随分苦労した。

当時の物の欠乏はひどいものであつたが、私の最も苦心し努力したこととは、伝統や習慣を異にする三校から集まつてきた先生方の魂を結集して、思いもよらぬ敗戦によつて虚脱状態になつている精神に祖国愛・民族愛の活を入れ、三校を発展的解消して、一つの学校を造つてゆく困難な仕事に精進させることであつた。

私は先生方への校長就任の挨拶の中で、「諸君は今までの同僚と共に集まつてきたのであるが、私はただ一人であつたので、私と何らかの関係のある人は一人もいないし、また今後この学校に迎えるつもりはない。私は教頭も科長も事務長も必ず諸君

の中からきめる。諸君はここで過去の関係を解消して校長を中心として団結し、祖国再建の苦業に精進しようではないか」と呼びかけたのである。幸いに職員のほとんど全部が私の呼びかけに誠意をもつて応えてよく努力してくれた。

三校統合直後の約三か月は高輪の狭い校舎で、午前午後と分けて二部授業をした。警察関係で借用していたのが、桜川小学校から引き上げると聞いて急いで区役所にお願ひし、五月ころに桜川小学校に十数教室を借用して分校を設け、まず二部授業をやめることができてほつとした。

高輪の校舎では、いかにも狭小で将来全く発展性がなく、かつ多数の生徒がいる学校校舎としてはすでに老朽で危険でさえある。何とかならぬものかと焦慮しても当時新校舎を建てることなどは到底思いもよらぬことであつた。すべての日本人がただ食することだけで精いっぱい、それすら不十分な時であつたのである。

終戦時には東京の人口は非常に少なくなつていて、とくに人口の密集地帯であつた芝区内では甚だしかった。したがつて鉄筋コンクリート造りの小学校が近距離に幾つもあつて、いずれも生徒数が極く少なく、ガラガラに空いていた。当時は再建東京

の人口は五百万以下にする方針もあつたらしく、地方に疎開していた人々が帰京することはなかなか許されなかつた。私は職員・父兄の方々と相談した結果、これらの小学校を整理統合することによつて生ずる空いた校舎を転用させてもらう方針を立て、当時の区長・教育課長・区会議長・区会議員・区出身の都会議員などの方々を毎日のごとくお訪ねして、現在の日本の工業は壊滅状態にあるけれども、敗戦によつて国土の四割近くも失つた人口の多い日本の

将来は、工業の振興なくしては国の再建はありえないこと、それには工業教育が何よりも必要であつて、今からすぐ再建しなければならぬことなどを力説してご配慮をお願いした。非常な努力の結果ほとんどすべての方々のご理解を得、東京都の許可もあつて区立愛宕高等小学校の校舎を転用させてもらうことになつた。それは高等小学校の校舎であつたために教室の面積も尋常小学校の教室よりは少し広く、また金工実習室・木工実習室・裁縫室などの面積の大きい室があつて工業学校に転用するには比較的適当であるから、私は最初からこの校舎を希望したし、愛宕山の麓で芝山内も間近い緑の多い環境もまたよいと思つたからであつた。

— 以下次号につづく —

理事会のページ



第3回港工同窓会旅行記  
港全 6期P 佐々木 修一

今年で3回目になる有志による同窓会旅行に初めて仲間に入れてもらった。

参加したのは、前田会長の他、廣瀬辰夫さん(4C)、中西悦夫さん(12E2)、小坂洋輔さん(12E2)、桃井義雄さん(12C)、松岡信之さん(16A)、相川浩さん(18A)、の皆さんと私(佐々木の計8名)。

期日は、平成24年10月21日(日)から一泊二日、そして行った先は山梨県の石和温泉です。

今から50年ほど前に畑の真ん中から突然温泉が湧き出したのがきっかけで、今日のような歓楽街を形成、いまや山梨県内でも有数の温泉地として知られているところです。

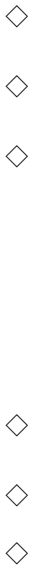
その石和へ今回は、幹事さんのご尽力により、JRの特急と宿泊がセットになった割安料金で参加させてもらったのですから有難い限りです。新宿からの特急が「かいじ」号ならホテルの名前も「甲斐路」、それはそれは豪華なホテルです。石和温泉駅からホテル差し回しの車の窓から甲斐の山々の向こうに真っ白な雪をいただいた富士山が覗いているのが見えました。

温泉に浸かり旅の疲れを癒したあとは、いよいよ大宴会の開宴です。美人のコンパニオンと差しつつ差されつ飲むほどに酔うほどにカラオケのボリウムも無い上がり、秋の夜ながは、にぎやかにいつまでもいつまでも続くのでした。

今回の参加人数は8人で前年より2人増えたとはいえ、まだまだ多いとはいえません。次回は是非あなたもご参加ください。(佐々木)

― 追伸

今回の参加人数は8人で前年より2人増えたとはいえ、まだまだ多いとはいえません。次回は是非あなたもご参加ください。(佐々木)



次回同窓会旅行の行き先はまだ未定ですが、諸費用(宿泊・交通費)を含めて一番安価で行ける(1・2万ぐらい)ので再度「石和」、との案が有力です。上越(水上)、或いは千葉方面にしたら・・・などもあります。日程は、少し後ろにずらし忘年会を兼ねて11月17日(日)〜18日(月)を予定しております。

総会までに幾つか案を作りますが、次回参加してみたいと思う方は、ご意見をお出し下さい。費用は交通費を含め1・5万円位でお考え下さい。

この「ニュース12号」では行き先の最終決定はお任せ出来ませんが、総会に出席出来ない方でも旅行に興味がある方は、総会後に事務局又は旅行幹事までご連絡下さい。

旅行幹事連絡先

〒208-0012

東京都武蔵村山市

緑が丘 1460-42-310

中西 悦夫(12期E2)

Tel 042-561-8242

Fax 042-561-7718

ケータイ 090-1547-7799

Em kuikhoto@dream.ocn.ne.jp

臨時号の配布について

「港工ニュース」は毎年春期に発行され今回は12号ですが、秋期に臨時号も発行しております。(欠番あり)。春の定期号は住所の確認出来る同窓会々員約5000人に配布しておりますが、秋の臨時号は賛助金お支払いの方(毎回でなくても可)のみに発送しております。本来は全員にお送りしたいのですが、費用の関係でそれは出来ません。臨時号は会員の皆様からの通信を主体に編集しております。クラス会をしていない会員の方から「久しぶりにクラスメートの消息が確認できた」とか「クラス会を再開した」とかのお便りも聞かれます。臨時号は会員相互間の親睦に大変有効です。賛助金お支払いで、是非臨時号もご覧ください。



港工同窓会の今後について前田会長と危機感を共有するために、同窓会々員の皆様から幅広い御意見をお伺いしたいと思っております。とりあえず、今回同窓会総会の返信ハガキに同窓会存続の賛否を問う欄を設けました。多くの方の御返信をお待ちしております。この集計結果で直ちに存続を決定する訳ではありませんが、今後の同窓会活動に反映させる所存です。

## 事務局からお知らせ

## ◎会則改定による賛助金のお願い

平成24年度の総会案内及び会報は、全員（住所判明者約4,700部）秋の臨時号は恩師及び賛助金納入者（1,600部）に送付しました。賛助金は564名の方に送金戴き、前年比約3%増で若干ながら増加傾向にあり、本年も会報を全員に発送することになりました。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

郵政民営化により振込手数料(同窓会で負担)が高くなりました。

窓口振込 70円 ↓ 120円

ATM機 60円 ↓ 80円

※郵便局のATMを使えば、

①土曜・日曜も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に

挿入し、金額のみ押せばOKです。

③窓口より待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます

銀行 三菱東京UFJ銀行

支店 4333 新橋支店 普通預金

口座番号 4753403

口座名義 港工同窓会会長前田武男

※必ず会員Noを記入して下さい。

出来れば振込連絡をお願いします。

## ◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

TEL 03-3737-6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

TEL 03-5321-1111

へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況		H25年3月現在	
区分	在籍数	確認数	(亡)
正会員	高輪一本	771	64 (87)
	高輪二本	768	28 (90)
	麻布一本	485	112 (143)
	港・定	3,866	594 (91)
	港・全	9,773	3,493 (289)
計	15,663	4,291 (700)	
特別会員	旧校長	15	5 (10)
	旧職員	626	281 (133)
	計	641	286 (143)

## &gt;同窓会の連絡先変更について&lt;

従来の㈱クリーンジャパンを退職し変更になり、住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局へお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5

港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)

TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916

E-mail: matsuoka@minatokou.net

## ☆平成24年度の収支状況

前期繰越額	2,589,547.-
収入の部	1,447,369.-
臨時会費	250,000.-
賛助金 564名	1,128,000.-
寄付その他	69,369.-
支出の部	1,552,711.-
総会費 28名	297,802.-
通信費	721,999.-
広報費	425,145.-
文化祭費	3,521.-
事務その他	104,244.-
次期繰越額	2,484,205.-

## ◇編集後記◇

冒頭の前田会長のお言葉、たいへん重いものがあります。25年間、港工同窓会を引つ張ってきて、だんだん寂れていく感じになってしまっている、各種会合の参加者の減少。そう言えば、編者が理事に参加し始めた頃は、六郷工科高校の小会議室が一杯に成る位の理事諸氏が集まったものですが、最近は通常5〜6名、多いときでも10名位。年令や健康状態で、なかなか出席出来なくなつたのは理解できますが、一番の問題は後を継いでくれる我々より若い世代の方の(理事)への参加が無いことです。いつもお願いしている事ですが、第一線を退いた方で、多少でもお時間に余裕のある方、(無い方でも)一度理事会を覗きに来てみませんか。

我々理事もボランティアで頑張っておりますが、このまま港工同窓会が万が一休止に追い込まれたら再び立ち上がることは出来ません。同窓会会員のみなさま。おひとりお一人の問題とってお考えください。同窓会出欠のハガキに通信欄がありますので、一言、ふたこと思いを書いていただければ幸いです。秋の「臨時号」に皆様からの御意見をお載せします。(臨時号は賛助金お支払いの方のみに発送しております)